

提案名 内発的発展による岩手県沿岸地域のインバウンド 交流人口拡大事業

(東北域内の普及展開対象地域) 宮古市、大船渡市、陸前高田市 (対象とする国外マーケット) 欧米豪

事業の概要: 欧米豪のアドベンチャー・ツーリズム(AT)層をターゲットとして、地域事業者のインバウンド交流拡大のための「ノウハウの蓄積」・「学びの場」を創出を目的に掲げて実施(2行以内)

代表事業者名・連携事業者名

代表事業者名: 有限責任監査法人トーマツ

連携事業者名: (株)インアウトバウンド仙台・松島
リベルタ(株)

課題・問題意識

インバウンド誘客において、地域側には「観光資源をインバウンド向けに商品化するノウハウがない」、「旅行商品の販売後に地域でハンドリングする人がいない」、「市場とのリレーション及び開拓ノウハウがない。」という問題があった。

参考とした過年度モデル事業名

[無し(新事業)]

地域の事業者が主体的に海外市場にアプローチするための支援を実施(内発的発展タイプ)

主な取組内容、結果、汎用化ポイント及び今後の展望

① 主な取組事項

地域事業者が自ら主体となってインバウンド交流拡大に取り組めるだけのノウハウを蓄積する場を創出することを目的として、宮古市及び大船渡市・陸前高田市エリアの地域事業者を対象に欧米豪のAT市場に向けた商品造成・販売・プロモーションに係るワークショップ開催、販売代行支援を実施した。

② 実施結果・考察

地域事業者側にインバウンド誘客を推進していくための「核」メンバーを創出。また、関与事業者(宿泊施設運営)による直接販売、自社商品内への造成商品の組み込みによる販売チャネルの拡大、外部関与メンバーによる国内大手旅行代理店への月1回程度の投げ込み、海外(LA)旅行エージェントへの商品展開の可能性のヒアリングなどの実施により、短期的な販売方法から中長期的な展開に関しての地域事業者への販売面での意識づけも実施(本事業期間内では販売数は2名という結果となっている。)

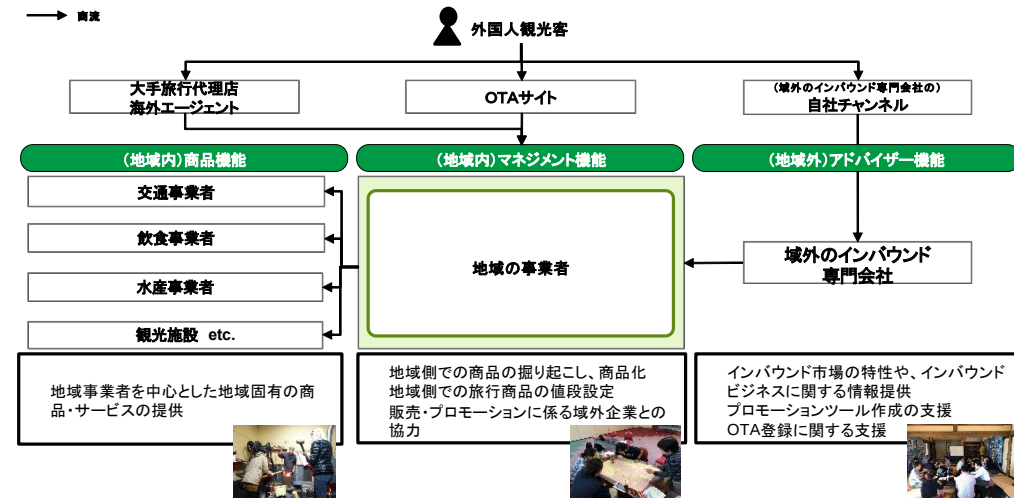
③ 汎用化ポイント

インバウンド誘客に向けた、地域の関与者拡大、造成商品の厚み、実施代行面での地域事業者の関与などの体制構築による、「地域内でインバウンドビジネスに対応できる部分」と「域外の専門家に頼らなければならない部分」を明確にし、双方が役割分担を行って体制を構築するという観点は汎用性がある。

本事業の自走化モデル(内発的発展タイプ)

④ 今後の展望

本事業内で造成した旅行商品を持続的に販売していくためにも、中核メンバーが商品機能を担う地域事業者をマネジメントするための「地域マネジメント機能」を向上していくことが、次なるステップとして必要である。



定量的な成果目標: 主要メンバーの掘り起こし数: 10事業者
ツアー造成数: 10商品
インバウンドの送客人数(購入者人数): 50人

最終成果: 主要メンバーの掘り起こし数: 13事業者
ツアー造成数: 13商品
インバウンドの送客人数(購入者人数): 2人